

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100526
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム うすき
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿二丁目13番17号 (電話) 099-255-2835
自己評価作成日	平成26年9月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

工場や会社の多い地区にあり、民家は近隣の大規模なマンションのみという立地にあります。しかし、意外なほど静かで落ち着いた環境となっています。敷地が広いので、2カ所に畑を設けて季節の野菜や花を栽培し、入居者とスタッフが協力して収穫の楽しみを分かち合っています。スタッフの半数以上が20代30代の若い世代であるため、活気のあるグループホームとなっていると思います。地域においては、3年間地区の班長を任せいただき、定期的に交流を持っているほか、小中学校の資源ゴミ回収にも協力して、地区の若年層との交流も持つことができています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年9月22日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は周囲に大型商業施設や企業が立ち並んでいる。敷地が広く川辺でもあり、静かで散歩や買い物を楽しめる環境にある。
- 町内会に加入し、班長を担い地域の総会や行事にも積極的に参加し、小・中学校の資源ごみ回収活動にも協力している。事業所の行事にも多くの地域住民が参加するなど日常的に地域と交流している。高校生の体験学習や中学生・一般のボランティアの受け入れなども行っている。
- 利用者が張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や習慣を大切にした支援をしている。
- 管理者は職員育成に力を入れ、資格取得には法人全体で支援している。職員は資質向上を目指し、ケア対応等に取り組んでいる。
- 運営推進会議が充実しており、参加者からの助言で簡易担架の利用で非常時の安全な避難誘導に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設内各所に掲出している。毎日の朝礼で唱和を行って、スタッフの意識づけをしている。</p>	<p>開設時に地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関や和室・2階の目に付きやすい場所に掲示している。朝礼や月1回の職員会議で唱和し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内内に参加し、班長を3年連続でさせていただいている。小学校・中学校の資源ごみ回収に協力している。</p>	<p>町内会に加入し、班長の役も引き受け、回覧板等で地域と情報のやり取りがある。年2回の小・中学校の資源ごみ回収での交流や高校生の体験学習・ボランティアの受け入れなども行い、地域と交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の方の見学や行事への参加があった。毎回の運営推進会議に参加いただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状や問題点を提示して、より良いサービスにつなげるために、意見を求めている。	会議は定期的に開催し、事業所の状況や利用者の現状・外部評価の報告をして意見交換を行い、地区の水路の情報や簡易担架の利用方法・防災頭巾作成・地域との協力体制作りなどの出された意見提案をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者が多いので、市の担当者との定期的な連絡・相談を実施している。	市の職員や地域包括支援センターの担当者とは日頃から利用者の相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、福祉担当者とは細かに連絡を取っている。介護相談員も受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の職員会議の中で、毎回身体拘束についての研修を実施している。身体拘束の意味を理解してケアに取り組んでいる。	具体例を挙げてマニュアルを作成し、月1回の職員会議の後に定期的に学習会をして、全員で身体拘束廃止を理解しケアに取り組んでいる。申し送り等で、その日のケアを振り返り、利用者に抑圧感などを招いていないか確認している。日中の玄関の施錠はせずに職員の連携で自由な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされことがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月の職員会議の中で、毎回虐待についての研修を実施している。虐待の意味を理解してケアに取り組んでいる。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度についての研修を受けて、スタッフ全体に意義を理解してもらうようにしている。			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に管理者から説明を行い、十分な理解をいただいている。また、退去後の生活に不安のある方にも、相談に応じている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関内に相談苦情箱を設置している。ご家族の面会時にお話を聞き出す努力をしている。各居室入り口に連絡用のノートを設置した。	利用者からは日々の生活の中で意見を聞き、家族からは面会時や運営推進会議時・各居室に設置した連絡ノートなど機会を活かして聞き、運営に反映している。意見箱も設置している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	個別に意見を受け付けるほか、毎月の職員会議の場で、係活動としての提案なども聞いて、日常の業務に反映させている。	管理者はミーティングや会議等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。提案により大柄の利用者の介助訓練を実施したり、歯ブラシの衛生的な保管庫・夜勤時の2ユニットで協力体制作りなど、意見を運営に反映している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	パートから準職員への昇格などの希望を代表者に伝え、本人の勤務上の希望を叶えている。資格取得への事業所としての協力をしている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内外の研修参加を、各職員の特性を考慮して、促している。勤務の日程や時間に配慮している。1年のうち最低1回の参加を目標としている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	近隣のグループホームとの連携を取り、可能な範囲で行事に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に施設を見学していただき、十分な説明と相談を受け付けている。入居以前の生活を教えていただき、入居後の生活につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、家族が不安に感じていることを聞き取り、具体的な対応ができるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始直後は、特に慎重に観察を行い、臨機応変な対応機心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	何かしら、本人自身で取り組んでいただけることを探し、スタッフがかかわりを持って取り組めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	落ち着いてくつろいだ環境で面会していただけるように、心がけている。家族の役割を意識していただくように声掛けをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解を得たうえで、知人友人などの面会をしていただいている。	馴染みの友人や知人の訪問を奨励し、継続的関係が途切れないよう働きかけている。月1回、理容師に訪問依頼している。家族の協力で美容室や買い物・墓参・法要への参加・外出など関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席や入浴の順番などを配慮し、気持ちよく過ごしていただけるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時に、今後も訪問していただけるような声替えをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>会話や表情、言動から本人の希望をくみ取るように努めている。</p>	<p>家族からの情報を得て、日常の言動や会話・表情の変化・行動等から思いや意向の把握に努めている。把握が困難な場合は職員間で話し合い、利用者本位に支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や家族との会話の中から、以前の生活の様子を聞き取るように努力している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>それぞれの方のリズムを考慮して、無理のない過ごし方になるよう心掛けている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>課題については、その都度意見を出し合い、ケアマネ一人の考えたケアにならないようにしている。</p>	<p>本人や家族・その他必要な関係者と話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	後で、読んだときにわかりやすい記録となること、なるべく思いが伝わる文章になることを目指している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	体調急変時の病院への付き添いや、必要な物品お買い物の代行など、支援している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	訪問のマッサージ・ヘアカット・フットケアを支援している。皮膚科・歯科の往診を実施している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本位の受診ができるよう に、本人と家族の望む医療機関と連携を図っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族同行となっているが、職員で同行した場合は、結果はそのつど家族に報告している。協力医療機関や歯科・皮膚科の訪問診療もあり、適切な医療が受けられる体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1名の看護職員がいるので、介護職員は必要な情報を取得して日常の業務に生かしている。			
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の定期的な面会をしている。家族や関係者から情報を取得して、早期の退院に協力をしている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のケアの指針を作成しているので、入居時と機会をとらえて隨時提示し、説明している。	重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して支援している。職員全員がその方針を共有している。緊急時もケアの方針に基づき対応、支援している。		
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	急変時のマニュアルを掲示している。毎年、研修を行い対応を学び、あわてないよう指導している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年度内に3回の訓練を実施している。（昼間想定・夜間想定・地震津波）	避難訓練は年3回、そのうち1回は消防署立会いのもと、昼夜間想定で実施している。スプリンクラーが設置され、誘導場所の設定、独自の担架や防災頭巾も作成し、通報システムには地域住民も入っている。防災設備なども整い、安全に避難できる工夫がなされている。地域住民の協力体制もできている。非常時の羊羹やクラッカーなどの食料や水の備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>排泄に失敗した時など、本人をプライドを尊重した対応に心掛けている。</p>	<p>利用者的人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。特に入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に十分配慮して利用者のプライドを損なわない対応を行っている。個人情報の書類は管理者が責任ある管理を徹底している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>困難な方も多いが、希望をくみ取り、心の声を聞き出せるように、信頼関係を築くことを指導している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>毎日の心身の状態をしっかりと把握して、無理のない生活を送るように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>訪問のヘアカット時は、なるべく本人の希望に沿ったカットをお願いしている。行事参加時化粧していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けやお盆拭きなどに協力していただいている。	菜園の野菜を利用して、嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。利用者の力量に応じて準備や後片づけを職員と一緒にを行い、職員も一緒に食べている。行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアにも取り組んでいる。食事が楽しみの1つとなり元気になった事例がある。食後は希望でコーヒーを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎回記録している。個人ごとにペットボトルに湯冷ましを入れ、テーブルに置いている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は毎回、スタッフが協力して、口腔ケアに取り組んでいただいている。必要に応じて歯科往診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の係が各個人の排泄の状態について検討するほか、必要以上の介助を行わないこととしている。	各個人の排泄パターンを把握し時間帯でパットを使用したり、言葉かけに気をつけ、トイレ誘導し、自立に向けた支援を行っている。羞恥心や不安を軽減する配慮に努め、便秘に対してオリゴ糖や牛乳で調整もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事と水分の量、運動に配慮するほか、必要に応じた薬の調整を行う。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の心身の状態を考慮して、順番を流動的にするほか、ゆったりと楽しく入浴していただけるように、入浴剤や湯温計を使用している。	基本的には週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるよう支援している。刺激の弱いベビーソープを使い、入浴剤や湯温調整で心地よくゆっくり楽しめるよう支援している。拒否がある場合は無理強いせず、時間を待ち、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに合わせた臥床時間、検討して実施しているほか、体調に合わせるようにしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬・臨時薬それぞれを理解し服用できるように、薬の説明書を毎回確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの個性に合った家事作業や、レクレーションへの参加で、毎日に楽しみがあるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	桜の花見・コスモス見学・ソーメン流し・ショッピングなどの定期的な実施により外出行事を行っている。	日常的には天気のいい日は敷地内や川沿いを車椅子使用者も散歩している。買い物や外食にも出かけている。年間計画で花見やコスモス園・ソーメン流などに出かけたりもしている。家族の協力で外出や墓参も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理される方はいないので、スタッフが預かって必要に応じて対応している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族に電話したいときは、遠慮なくかけていただくよう声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある装飾を心がけるほか、あまり華美になつたり幼稚なものにならないように心がけている。	玄関やフロアは広くゆったりとして、換気や採光に配慮し、掃除が行き届いている。和室にソファーやテレビなどが置いてあり、自由に過ごせる。壁には行事の写真等が貼布されている。常にコーヒーが沸かしてあり、食後、お茶の時間に楽しめるように配慮してある。玄関入り口横に地域交流センターの部屋もある。めだかを飼って観察している。季節の花も生けられ、居心地の良い共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にソファーを配置しており、思い思いにくつろいでいただけるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを居室内に置くなど、居心地良く住んでいただけるように心がけている。	各居室入り口に防災頭巾をかけ、避難に備えている。居室には本人や家族と相談しながら、家具や仏壇・写真など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものを持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がしてあり、その人らしい居室となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全と自立を考慮して、各個人がそれぞれの個性を生かせるグループホームとなることを目指している。</p>		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に 1 回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	○	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない